

2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
34203	情報資源組織演習(目録) Organization of Library/ Information Resources:Cataloging	家禰淳一	✓	専門	1	選択	1, 2後期

科目の概要

「情報資源組織論」で学んだ資料組織の基礎理論に基づき、演習科目として「日本目録規則2018年版」を理解する。目録を作成することは、図書館司書の専門的な仕事である。数多くの練習問題を解くことで、多様な情報源からのデータ採取、目録規則の適用と目録書誌データの記述方法を身に付ける。最新版の目録規則であり、まだ実際にこれを使用していないかもしれないが、今後の方向性として、その内容に迫る。その中で、特にコアとなる表現形を中心に記述できるように演習する。難しい問題に粘り強く取り組むことで自己研鑽し、社会で貢献できる力を身につける。  
★図書館司書として勤務した経験を活かして、適切な目録作成が必要な理由を伝えながら演習を進める。実際の目録作成現場の状況なども示すことで、通常馴染みのない図書館目録の世界を身近なものとして捉えられるように授業を進めていく。  
情報資源組織演習(目録)は、ディプロマポリシーの①②③④に相当する。これらを身に付けるために行う。

学修内容	到達目標
① 日本目録規則1987年版改訂3版と2018年版について理解する ② 表現形の記述について理解する ③ 目録記述演習を実施する ④ 表現形・個別資料・著作・表現形について理解する ⑤ 実態の関連性を理解する	① 日本目録規則1987年版改訂3版と2018年版の概略を説明することができる。①②③④ ② 日本目録規則1987年版改訂3版と2018年版に基づいて図書目録記述ができる。①②③④ ③ 表現形の各エレメントの記述ができる。①②③④ ④ 表現形・個別資料・著作・表現形について理解できるようになる。①②③④ ⑤ それぞれの実態の関連性を理解できるようになる。①②③④

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例	
前に踏み出す力	主体性	自主的に図書館や書店に足を運び、様々な本について知ることができる。
	働きかけ力	
	実行力	図書館等で図書の目録記述となる材料を探し、積極的に記述の練習を行うことができる。
考え抜く力	課題発見力	図書館等で図書の目録記述となる材料を探し、積極的に記述の練習を行うことができる。
	計画力	
	創造力	図書館等で図書の目録記述となる材料を探し、積極的に記述の練習を行うことができる。
チームで働く力	発信力	自分が記述した目録を授業の中で発表できる。
	傾聴力	目録作成に躓いている他学生に声をかけ、アドバイスすることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：「情報資源組織法 第3版」 志保田務, 高鷲忠美編著 第一法規 2021年3月 2,970円(税込)  
参考文献：「分類・目録法入門(新改訂第6版)ーメディアの構成ー」 木原通夫, 志保田務著 第一法規 2020年2,100円

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：図書館に関する科目全て 特に、情報資源組織論と情報資源組織研修(分類)  
資格との関連：図書館司書

学修上の助言	受講生とのルール
前期開講の「情報資源組織論」の授業を受講していないと理解することが難しい授業内容であるため、情報資源組織論未履修者は事前に相談に来ること。授業内で課題提出4回とテスト1回をするので、復習に時間をかけて計画的に学習すること。テスト日に欠席しない(授業内テストで9割評価するため、当日欠席すると単位の取得が難しくなる)。	遅刻は、3回で1回の欠席となる。6回以上の欠席は0(放棄)判定となる。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
	平常評価	小テスト		30	①	✓	授業で1回の小テスト（評価：30点）を行い、その結果で評価する。 ポイント 講義と演習での内容を理解したうえで、目録作成時、記述の正確な転記ができていないかによって評価する。
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
					⑤	✓	
		レポート		60	①	✓	授業で4回の目録作成の課題提出（評価：1回目5点、2回目20点、3回目30点、4回目5点）で評価を行い、その結果で評価する。 講義と演習での内容を理解したうえで、目録作成時、記述の正確な転記ができていないかによって評価する。
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
					⑤	✓	
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		0	①				
			②				
			③				
			④				
			⑤				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）		10	①	✓	（主体性）授業の疑問点について積極的に質問し、問題解決に自主的に取り組むことができる （実行力）テストの結果について、理解できていないところを調べなおし、理解できるようにする。 （課題発見力）間違いやすい箇所を知り、正確に記述できる （創造力）自分が所有する本や新刊図書の日録作成に取り組むことができる （発信力）自分が記述した目録を授業の中で発表できる （傾聴力）講義を聞き、わからない部分は質問することができる （規律性）遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。 ※上記の7項目は、課題発見力を特に重視し、全体を通して総合的に評価する・・・10点	
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S（秀）評価 ・課題と小テストのポイントで示したような正確な目録作成ができることと、小テスト・レポート・社会人基礎力の総合評価で9割達成できている。 A（優）評価 ・課題と小テストのポイントで示したような正確な目録作成ができることと、小テスト・レポート・社会人基礎力の総合評価で8割達成できている。	B（良）評価 ・課題と小テストのポイントで示したような正確な目録作成ができることと、小テスト・レポート・社会人基礎力の総合評価で7割達成できている。 C（可）評価 ・課題と小テストのポイントで示したような正確な目録作成ができることと、小テスト・レポート・社会人基礎力の総合評価で6割達成できている。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 目録法の意義と基本的 考え方	講義と質疑応答	目録法の意義と基本的 考え方を理解できるよ うになる。	(予習) 配布した資料 をあらかじめ読んでお く。 (復習) 配布した資料 を読み返す。	90	主体性 傾聴力 規律性
2	目録法のFRBRモデル	講義と質疑応答	FRBRモデルの構造と機 能を理解できるよう になる。	(予習) 配布した資料 をあらかじめ読んでお く。 (復習) 配布した資料 を読み返す。	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	日本目録規則1978年改 訂3版と2018年版	講義と質疑応答	日本目録規則1978年改 訂3版と2018年版の違 いに対応部分について 理解できるようにな る。	(予習) 配布した資料 をあらかじめ読んでお く。 (復習) 配布した資料 を読み返す。	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	・日本目録規則1987年 版改訂3版の基本(図 書と継続資料) ・記述の基本的な書き 方	講義と質疑応答	日本目録規則における 基本と記述の基本的な 書き方を理解できるよ うになる。	(予習) 配布した資料 をあらかじめ読んでお く。 (復習) 配布した資料 を読み返す。	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	タイトルと責任表示に 関する事項(1)	講義と質疑応答	タイトル、責任表示の 記述について理解し、 転記できるようにな る。	(予習) 配布した資料 をあらかじめ読んでお く。 (復習) 配布した資料 を読み返す。	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	タイトルと責任表示に 関する事項(2)	講義と質疑応答 演習課題①の提示(PC を使ってワードまたは テキストファイルで google classroomに提 出)	タイトルと責任表示の 記述について理解し、 転記できるようにな る。	(予習) 配布した資料 をあらかじめ読んでお く。 (復習) 配布した資料 を読み返す。	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	版と出版・頒布に関す る事項	講義と演習 演習課題①の解答と フィードバック	版と出版・頒布に関す る事項の記述について 理解し、転記できるよ うになる。 演習課題のフィード バックにより理解度を 認識し、わからないと ころを理解できるよう になる。	(予習) 配布した資料 をあらかじめ読んでお く。 (復習) 配布した資料 を読み返す。	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	形態に関する事項	講義と質疑応答 演習課題②の提示(PC を使ってワードまたは テキストファイルで google classroomに提 出)	形態の記述について理 解し、転記できるよ うになる。	(予習) 配布した資料 をあらかじめ読んでお く。 (復習) 配布した資料 を読み返す。	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	シリーズに関する事項、注記に関する事項	講義と質疑応答	シリーズ、注記の記述について理解し、転記できるようになる。	(予習) 配布した資料をあらかじめ読んでおく。 (復習) 配布した資料を読み返す。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	標準番号、入手条件に関する事項	講義と演習 演習課題②の解答とフィードバック 演習課題③の提示 (PCを使ってワードまたはテキストファイルでgoogle classroomに提出)	標準番号、入手条件の記述について理解し、転記できるようになる。 演習課題のフィードバックにより理解度を認識し、わからないところを理解できるようになる。	(予習) 配布した資料をあらかじめ読んでおく。 (復習) 配布した資料を読み返す。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	継続資料の記述 (1)	講義と質疑応答	継続資料の記述について理解し、転記できるようになる。	(予習) 配布した資料をあらかじめ読んでおく。 (復習) 配布した資料を読み返す。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	継続資料の記述 (2)	講義と演習 演習課題④の提示 (PCを使ってワードまたはテキストファイルでgoogle classroomに提出) 演習課題③の解答とフィードバック	継続資料の記述について理解し、転記できるようになる。 演習課題のフィードバックにより理解度を認識し、わからないところを理解できるようになる。	(復習) 配布した資料を読み返す。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	その他の資料の記述 CAT2020の概要 (1)	講義と演習 演習課題③の解答の続き	その他の資料の記述について理解し、転記できるようになる。 CAT2020の概要を理解できるようになる。 演習課題のフィードバックにより理解度を認識し、わからないところを理解できるようになる。	(予習) 配布した資料をあらかじめ読んでおく。 (復習) 配布した資料を読み返す。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	まとめと小テスト	講義と演習の復習 小テストとその解答及び解説 採点后、Googleクラスルームにおいてフィードバック 講義と演習 演習課題④の解答とフィードバック	講義と演習の復習により、理解度を認識し、わからないところを理解できるようになる。 小テストの解答をフィードバックすることにより理解度を認識し、わからないところを理解できるようになる。	(予習) 配布した資料をあらかじめ読んでおく。 (復習) 配布した資料を読み返す。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	CAT2020の概要 (2)	オンデマンド授業 授業の内容をワードファイルまたはテキストファイルで提出 (800字程度、提出期限1週間以内)	CAT2020の概要について理解できるようになる。 演習課題のフィードバックにより理解度を認識し、わからないところを理解できるようになる。	(予習) 配布した資料をあらかじめ読んでおく。 (復習) 配布した資料を読み返す。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力